


# せりたより

(発行)

茅田地区  
住民自治協議会

「せりたより」  
創刊します



茅田地区住民自治協議会が茅田に暮らす人たちとつくる超ご近所ローカル情報誌「せりたより」が今月からはいまります。

茅田の人や場所に出めがねをあてて隔月でお届けします。タイトルには「茅田のお便り」と「茅田(茅田より)」の意を込めました。手探りですが、一号一号、育てながら発行していきます。よろしくお願ひします。

お茶のみインタビュー  
「せりたより」創刊への想い



コメダ珈琲店 東口公園にて...

茅田住民自治協議会



会長 / 倉石 栄二さん (77)  
(北中在住)

茅田に暮らす、そのまんまの視点を届けてほしい。「こんなことがあるんだな」「こんな人がいるんだな」って住んでいる人たちに共感を覚えてもらうことが「自治」組織への一歩になる気がするんだよね。

「倉石さん(せり)年表」

- 北中地区で生まれる
- 大学進学で長野を出る
- 定年まで東京で働く
- 長野に帰ってきて町の役を引き受ける
- 61才で北中區長になる
- 區長を8年間勤める
- 茅田地区住民自治協議会「会計」を2年勤める
- 「会長」を勤めて2年目

## 編集室のメンバー

(今のところ)

茅田地区住民自治協議会の事務所で時々情報交換しつつ、会長の倉石さん、会計の夏目さん、企画調整部長の青木さん、ライターの大目方で作っていきます。



夏目さん(77)  
七瀬中町在住

七瀬中町元區長。  
無線機やパソコンの動画編集、アップルウォッチを使いこなし、人型ロボットのけんとう君とあでかけもするメカ通。

(相談役)  
取材調整・原稿確認

倉石さんと同期



青木さん(80)  
茅田在住

会長直属のプラン「企画調整部」  
現役時代の専門分野は情報及通信で、現在は木公本を4拠点に障がい者のテレワーク就労支援団体の代表を務める。(パソコン修理も得意)

(相談役)  
取材調整・原稿確認



大目方(42)  
茅田在住

栗田歴9年。小学生と年長さんの子育てをしながら暮らしている。(デリシヤやラムーデでお買物をしたり東口公園で遊んでいます)

取材、イラスト、文

### 最年少區長になって


長野に帰ってきて道を踏み外したのが、町の役を引き受けてしまったこと(笑)なり手不足でまわりも待ちかまえていたんだよね。当時は知り合いもいなかったから、サークル活動に3つ入ってそこから町の人を知っていった。北中の人の顔と名前はほとんど覚えたかな。自分は弱い人間だからそういうことを知らないとなかなか動けない。でも、あの頃の子たちは今でも「あー區長ー」って呼んでくれるんだよね。

### 「自治」をおもろ

住民自治協議会は、長野市が「都市内分権」の理論で「自分たちの町は自分たちで作る(自治)」を進めるために市内各地に作った組織なんだけど、どうやってそれを実現していくかの方法はこちらに任されていて。それがまだできていないと思うんだ。

### 自治してね

地区のスポーツ大会でも、主催や賞状に「茅田地区住民自治協議会」と入っているけど、子どもたちに聞くと「知らない」と言うんだよ。「17區長が集まって住み良い町を作るための組織なんだよ」とは言ってみても、我々みたいな年寄りが理解しているだけで小学生に理解されないんじゃないかと思ったり。ウラにつづく



「お茶のみインタビューのつづき」  
**『自治』と『せりたより』**

「自治」って何だろうとよく考えるけど、きくと正解はないんだよね。あるとしたらそれは自治を担っているひとりひとりの人（芹田に暮らす人たち）が「ここで生活できて良かった」と思ってくれることなんじゃないかな。道ばたのサレ

を見て「きれいだな」でもいいと思う。これを読んだ人が少しでもそういうことを感じるとき、かけになればと思うんだよね。（おあり）

倉石さんが道端から掃んでくれた「カラスビシャク」

昔はこのあたり一面に生えていたんだよ



**倉石さん  
のぼれ話**

高校時代は生物クラブ。昔で言うところの「根暗なクラブ」だね（笑）

趣味は植物、動物、山登り、絵画など

治道や公園の草刈りなどをする「北中愛護会」の会長も務めている



車に乗っていると分からない色々な景色が見えておもしろいよ

免許は35まで返納

**和を以て  
貴しとなす**

聖徳太子  
十七条憲法の第一条

倉石さんの持論は「隣の人におおいに迷惑はかけなさい。その代わり、お互いさまで協調してやろうよ」それで住民自治協議会の会長になるときにもこのことばを掲げたそうです。

**せりたの  
もよむし記**

7月9日（水）10時、芹田公民館講堂で開かれた「七夕交流会」におじゃました。多文化交流を目的とした会で、ご近所の長野平青学園に通う生徒（留学生）さんたち約40名が浴衣姿で登場（うれしそう）。芹田の名人た



ちが披露する日本舞踊やお琴を鑑賞したり、体験したり、全員で紙ヒコーキ飛ばし対決をしたりと盛り上がり、ていきました。



なんだかんだで夏目さんの人型ロボけんとう君に目を輝かせていたメンズ

紙ヒコーキの折り方は万国共通ではなかった...! 自動車整備士を目指している子が優勝しました

**「木同の会」**



壊さないようにそおと角触る学生。前「もっと強く、こうだよ!」と、よくお琴をさあらせてくれる先生。

一生懸命書いていた短冊自分の子どもだ、たら...と思、たら泣きそうになる

- 日本語がうまくなりますように
- かぞくにはやくおいたい
- おたしはいつをかぞくをしあわせにするように



今度近所で見かけたら、彼彼女たちを心の中でかぜんた様したいぞ...! と思った交流会のひとときでした。

**編集室  
より**



「新しい形のおたよりを発行したい」とアツイ相談をいただき、このたび取材等を担当させていただくことになりました。

恥ずかしながら地区の便利を真剣に見てこなかったし、住んでいるのに芹田地区のことを全然知りません；

そもそも携わる資格があるのか今でも自信がありませんが、そのままの視点で取材していただければOKと励ましていただき発行に至りました。

自分自身も楽しみながら、皆さんでいければと思います。ご意見・ご感想・リクエスト、我が町のおすすめ情報など

など、よかったですお聞かせください。この欄まで読んでくださってありがとうございます。

ます。これからどうぞよろしくお願いたします。

（大日方）